

不景気か？

不景気だ！

赤玉ポットワインを飲んでるか

ネ？

飲んでない！

そうだろう！

◇

世界恐慌さなかの1930（昭和5）年、コピーライターの先駆者だった片岡敏郎はこんな表現で「不景気」を見事に広告にしてしましました。「そうだろう！」に時代のさまざまな共感が集まったようです。これほどさらっと乾いて、それでいて粘着力のある言葉を79年後の私たちは持っているか。「世界不況」「空爆」「孤独」

ました。

◇

さて、皆さんはどんな新年

をお迎えでしょうか。この岡

山面では年賀状代わりの元日

紙面で岡山市に本部を持つA

MDAの発足25周年を特集し

ました。菅波茂・AMDAG

グループ代表(62)へのインタビ

ュー、これまでの歩み、へき

地医療や外国人医療支援に果

たしている役割をお伝えした

ところですが、あす6日から

は連載企画「越境人 それぞ

れの国際貢献」を掲載します。

AMDAGとさまざまな縁を持

つ人たちが、それぞれの足場

から国際貢献活動を重ねてい

る姿を追ってみたいと思っただ

「何かをやりたい、人の役にた

お互いさま

「したい」という菅波さんや仲間

の集まりは世界30の国・地域

の支部と、緊急援助や社会開

発、国際福祉など役割ごとの

5団体を持つ組織を持つ

までになりました。昨年も中

国・四川大地震やミャンマー

のサイクロン被害に着実な援

助態勢を取ることができまし

た。

岡山面に菅波さんが連載し

ているコラム「あまのこ夢童」も今

年が15周年。AMDAGが絶え

ず世界に発信するキーワード

を伝えてきました。

「人間だれでも他人の役に

立ちたい気持ちがある。援助

を受ける側にもプライドがある。

だれでも社会から必要とされたい

の人たちが一番知っている」

「世界の市民の共通の価値は『家

族の今日の生活と、明日の希望』

「困ったときはお互いさま。こ

の相互扶助精神はAMDAGの行動

原理である」

1日の紙面で菅波さんも語って

いるように「sogor-fujo

（相互扶助）」という言葉を国際

社会で共有できる価値観に高める

こと。英語の辞書に（過労死やカ

ラオケだけでなく）載るようにな

れば、そこがAMDAGの文化的使

命の到達点だということです。

今年10月にはAMDAG25周年記

念の国際会議が東京と岡山で開か

れます。困っている人に「お互い

さま」と手を差し伸べる。ネット

ワークを強める。この時代、さら

にその大切さが増すでしょう。

【岡山支局長・松倉展人】